

1/17 (月) 子どもたちに読書の楽しみを

大田原信用金庫様から児童図書の購入費用として20万円が寄附されました。これは、子どもたちの読書環境を充実させることで、幼いころからたくさんの本を読み、「将来の人格形成」の一助になればと地域貢献活動の一環で行われたものです。今回で14回目の寄附となり、これまでに購入した2,600冊以上の児童図書は、「だいしん文庫」として市立図書館に設置されています。

駒場理事長は「子どもたちに読書を楽しんでほしい。これからも地域のために係わっていききたい」と話されました。



▲(左から)【大田原信用金庫】沼宮内矢板支店長、駒場理事長、【矢板市】齋藤市長・村上教育長

1/21 (金) 苺を食べてベリー Happy

矢板小学校で、苺の贈呈式が行われJA しおのや様から矢板市産とちおとめが寄贈されました。これは、地元の特産品を小中学校の給食に提供することで、子どもたちの食への関心を高め、農業の役割を理解してもらうことを目的にJA グループ栃木が一体となって毎年行っているもので、本市への寄贈は今回で4回目になります。

荒井代表理事組合長は「例年以上の寒さで苺の糖分が多く、甘みが増している。子どもたちが旬のおいしい苺を食べて、元気で笑顔になってほしい」と話されました。



給食に提供された苺を食べる児童たちの様子▼



▲(左から)【JA しおのや】荒井代表理事組合長和氣代表理事専務【矢板小学校】保健給食委員会委員長 菅又さん副委員長 室井さん

1/23 (日) 文化財、火の用心!!

寺山観音寺や荒井家住宅など市内7つの文化施設で、矢板消防署や市消防団などが参加し、消防設備の点検や放水訓練などが行われました。これは、火災が発生しやすいこの時期に文化財防火運動を展開し、文化財愛護意識の高揚を図ることを目的とした「文化財防火デー」に合わせて行われたものです。

消防署員は「火事は身近にあるものを一瞬で奪ってしまう。地域の貴重な文化財を後世に引き継ぐためにも、みんなで火の用心を心掛けてほしい」と話がありました。

※文化財防火デー  
法隆寺金堂壁画が焼失した日(昭和24年)に当たる1月26日を中心に、文化庁、都道府県・市区町村教育委員会、消防署などが連携・協力し、全国的に消火訓練などを実施しています。



▲荒井家住宅  
◀寺山観音寺

2/9 (水) 目指すは、少年野球日本一

県支部予選を勝ち抜き、3月26日に開幕する第52回日本少年野球春季全国大会(中学生の部)への出場を決めた、「大田原ボーイズ」に所属する矢板中学校の生徒4人が、市長を表敬訪問しました。創部13年の本チームが全国大会に出場するのは今回で3回目、春季全国大会へは初出場となります。

選手たちは「このチームの良さは1人ひとりが元気にプレーするところ。一戦必勝で、チームに勢いをつけて目指すは頂点、日本一」と意気込みを話してくれました。



▲(左から)齋藤市長、吉田 暉選手(2年生)・古菅 輝成選手(2年生)・福田 陽希選手(1年生)・石田 連太郎選手(1年生)、横塚副市長